

大阪公立大学テニュアトラック助教の公募
テニュア資格審査における基準（ガイドライン）
[理学研究院・理学研究科・物理学専攻・物性物理学分野]

2026年1月
人事委員会

- (1) テニュアトラック助教として採用された後の5年間の研究活動において、筆頭著者としての学術論文が概ね5編以上あること。ただし、責任著者としての論文も筆頭著者論文に含めることができるものとする。
- (2) テニュアトラック助教として採用された後の5年間の研究活動において、研究代表者としての競争的外部資金の獲得額（直接経費）が概ね300万円以上であること。
- (3) テニュアトラック助教として教育及び地域社会への活動において十分に貢献し、高い科学者倫理を涵養していること。
- (4) テニュアトラック期間内に法人の指定する研修を受講していること。
- (5) 採用後に作成するテニュアトラック期間中の研究計画が予定通りに進捗していること。